

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	ソーシャル・コンピューティング (荒牧 英治 (教授))		
学籍番号	2311225	提出日	令和 7年 1月 17日
学生氏名	林 純子		
論文題目	テキストデータを用いた幸福度と主体性の推定モデルの構築と分析		
要旨			
<p>幸福度のような心理的概念の計測は、現代社会における幸福の決定因子を理解する上で、ますます重要性を増している。従来、質問紙を用いた大規模かつ横断的な計測が主流であったが、リアルタイムで個人の心理的变化を捉える研究は限られていた。本研究では、テキストデータを活用して心理的概念を計測することを目的とし、自由記述と自己申告による幸福度を縦断的に収集して個人の幸福度を推定するモデルを構築した。その結果、モデルは高精度な推定が可能であることが示されたものの、幸福度に対する個人の解釈の違いがモデル性能に影響を及ぼす可能性が示唆された。これを踏まえ、幸福の重要な要素であり個人差が大きい主体性に着目し、解釈のばらつきに焦点を当てた分析を実施した。クラウドソーシングを用いて500名から文章から感じる主体性を4段階評価でラベル付けしてもらい、個人ごとの解釈のばらつきを考慮したコーパスを構築し、主体性の多寡と解釈のばらつきを推定する2つのタスクを実施した。結果として、主体性の多寡を推定するタスクでは高い精度を達成した一方、解釈のばらつきを推定するタスクには課題が残った。これらの結果は、幸福度や主体性といった心理学的概念を自然言語処理を活用して定量的に理解し、予測する新たなアプローチの可能性を示している。</p>			